



# 鍼灸師はたけなかが見た衝撃!! ケニアエピソード



恵比寿からだっころ

東京都渋谷区恵比寿南2丁目9-4 安島ビル2 5F  
☎ 03-5720-5710

2016年にケニアのスラム街プム ワニでの医療キャンプに鍼灸師として参加。その時に今までの常識を覆す衝撃 の数々。

その1.

## 『簡易ベッドがまっぷたつ!!』

ある日、治療のために女性が簡易ベッドに乗った瞬間、“バキッ”という音と共に、目の前でベッドがまっぷたつ!!足が太く丈夫そうなベッドではあったのだが、まさか割れるとは…。幸い女性にケガはなく、その女性も驚くというより壊れたベッドに対して呆れているようなリアクション。そして、この女性、体重が100kg以上。スラム街の女性は、水よりも炭酸飲料の方が安く手に入り、揚げ物が多い食事。結果、体格の大きい方が多い。この女性のリアクションと共に驚きの事実であった。



## ケニアキャンプの経験があざさの今に繋がっている!

ケニアという日本とは環境がまったく違う別世界の場所に滞在したのが4年前かと思うと感慨深いです。未知の世界に足を踏み入れるワクワクと不安があり混ざり、終始刺激を受けていたのを今でも鮮明に覚えています。

滞在中ワクワク楽しく過ごす中、うまく言葉を伝えられなかつたり、もっと段取りよく治療出来たのではないかなど、当然上手くいかないことや失敗も沢山ありました。心がへし折られても、明日はこう変えてやってみよう!と切り替えて柔

その2.

## 『そこまで近づかなくても…』

プムワニはケニアの首都“ナイロビ”近郊のスラム街。一歩通りを出ると車の往来が激しい。その車のほとんどは日産やHONDAなどの日本車。なので一見、日本の道路と変わらない様に見える風景なのだが…近いつ!!車と車の距離が近すぎる!!前も後ろも横も人一人通れるくらいかどうかくらいのスペース。さらに、その隙間に物乞いをする人が歩いているわけだから、密集も甚だしい。そして、その僅かなスペースを保ちながら車が走る。運転下手な私としては、その運転技術にあっぱれであった。



軟に対応しようとしている自分がいました。チャレンジや未知なる挑戦をワクワクしながら取り組むこと、失敗しても切り替えて課題点を見つけ実行することはケニアで経験できたからこそ、日常の中でも意識して課題に取り組むようにしています。

また日本はどれだけ恵まれている国なのだろうとケニア滞在中にとても感じました。学校に行けない、十分な食事が取れない、帰る家がないなど当たり前だと思っていた



ことが当たり前でないことを目の当たりにしました。自分は住居を持ち不自由なく生活が出来ていることに日々感謝の気持ちを忘れないこと。今現在は世界的に困難な状況ですが、自分だけで

はなくきっと周りも大変な状況なんだと理解する上で、協力しあいながら微力でも困っている人がいたら何か力になりたい、誰かのために行動出来るよう協力できる人でありたいと思います。



鍼灸師 高橋(大道寺)梓

はりきゅうアロマサロン栖 -すみか-  
札幌市西区八軒10条東3-1-27 アンソレイエ401(4F)  
☎ 080-5585-1315

「モヨ・チルドレン・センター」の  
ホームページ→

